

報道各位

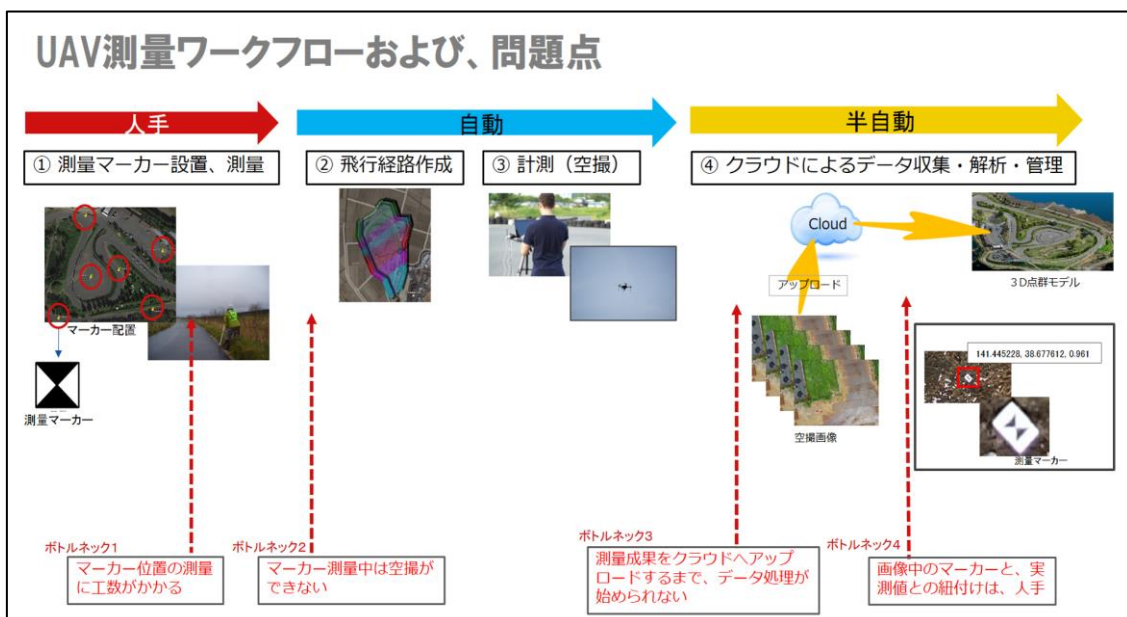
エアロセンス 株式会社

## 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、エアロセンスの「IoT社会の実現に向けたIoT周辺技術の小規模研究開発」を採択～安全・簡便・高精度な3Dモデル化オペレーションの実現～

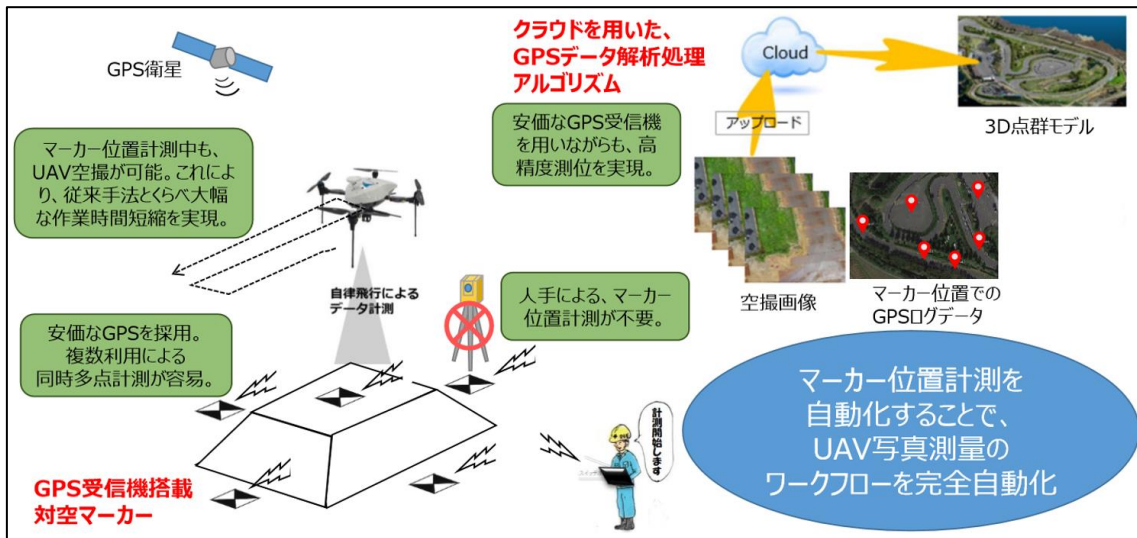
エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役：谷口恒、以下エアロセンス）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の平成28年度「IoT社会の実現に向けたIoT推進部実施事業の周辺技術・関連課題における小規模研究開発」に応募し、「安全・簡便・高精度な3Dモデル化オペレーションの実現」のテーマで採択されました。<sup>i</sup>

国土交通省では、今年を「生産性革命元年」と位置づけ、調査・測量、設計、施工、検査および維持管理・更新のあらゆるプロセスにICTを取り入れることで生産性を向上する「iConstruction」を推進しています。それぞれの工事でUAV（ドローン）による施工前の測量が行われ、この測量結果や設計の3次元データを用いてICT建機による土工が始まっています。年度内に約410件のICT土工の工事公告がなされる見込みです。<sup>ii</sup>

このようにICT技術により施工を効率化することが図られていますが、依然としてマーカー測量という手動作業が残り、十分に効率化されていないのが現状です。（参考図1）



そこでエアロセンスは、UAV 写真測量のワークフローを完全自動化することを目的として、「GPS 受信機を搭載した写真測量用対空マーカー」、「安価な GPS 受信機を用いながらも、土木・建築分野でも耐えうる高精度測位アルゴリズム」を開発します。(参考図 2)



これにより従来よりも低コストかつ短時間で、高精度な 3D モデルの作成が可能となり、地形・土量測量の省人化および生産性向上が実現されます。エアロセンスは、この技術を開発することで、土木・建築分野に限らず、考古学や観光における遺跡や建造物のデジタルアーカイブなど、高精度な 3D モデル化が必要とされる様々な分野において、貢献していきます。

■本件に関するお問い合わせ先■

エアロセンス株式会社

東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号

TEL: 03-4405-8535、Email: [contactus@aerosense.co.jp](mailto:contactus@aerosense.co.jp)

[www.aerosense.co.jp](http://www.aerosense.co.jp)

i [http://www.nedo.go.jp/koubo/IT3\\_100004.html](http://www.nedo.go.jp/koubo/IT3_100004.html)

ii 2016 年 6 月 15 日 国土交通省「i-Construction の第 1 号工事がスタート！」